

第5回 秦野市4駅にぎわい創造検討懇話会 (鶴巻温泉駅)

令和5年11月8日(水)

午後3時～ 弘法の里湯2階休憩室

秦野市4駅にぎわい創造検討懇話会とは？

まちに関わる様々な人のまちに対する
思い、アイデアを共有し、形にする場

- ▶ 自分事として将来のまち(将来の暮らし等)を考える・共有する。
- ▶ やりたいこと、できそうなこと(アイデア)を具体化し、実践・検証しながら、今後の自分達の役割、関わり方について考える。
- ▶ 懇話会を通じて、仲間づくりや街に関わることの楽しさ・達成感につなげていく。

懇話会でやろうとしていること

- ▶ 自分たちができる、「まちにいいこと」を考える
- ▶ 「どこで」「なに」をやるとまちが活性化しそうかを考える
 - ・実際にやってみる
 - 例えば…「空地でマルシェをやってみる」「道端にベンチを置く」
- ▶ 活動と議論を積み重ねる。



- ▶ 実際の体験などをもとに、自然体のまちの方向性づくりを行う。
- ▶ 行政は、活動を支援する形で、できること・やるべきことを施策とする。

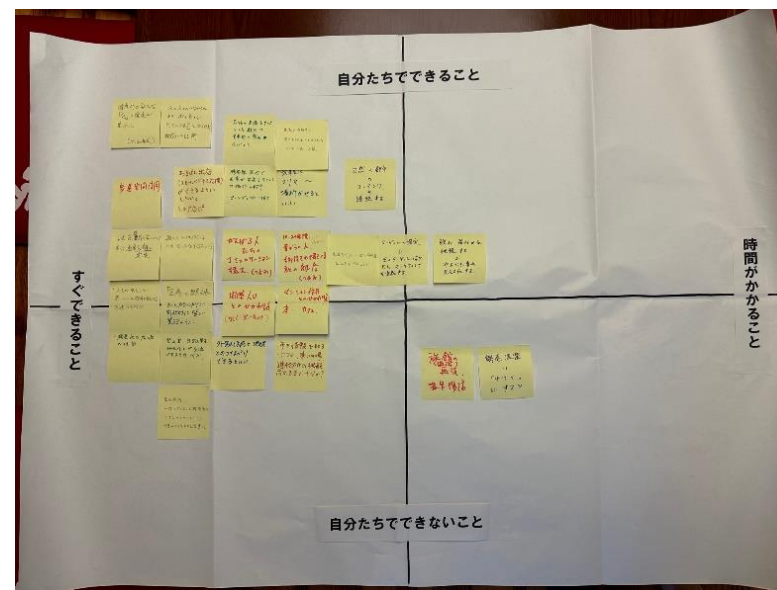
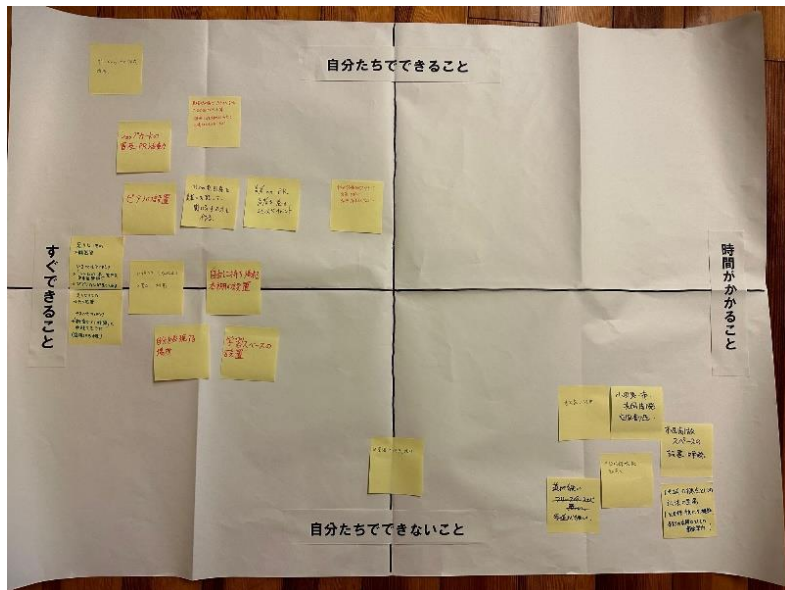


まちの活性化・多くの人がまちのにぎわいづくりに参加したくなる

第4回目の成果

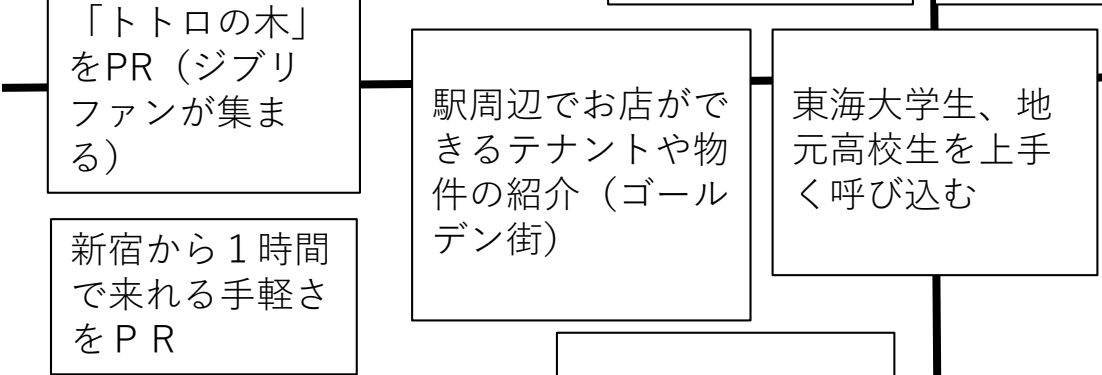
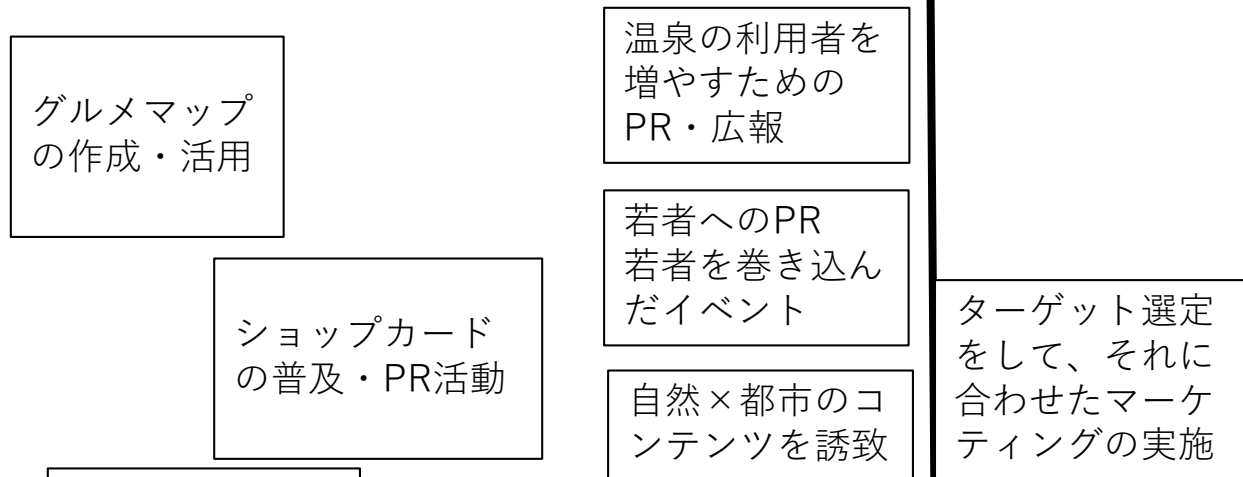
第4回 開催概要

- ▶ 日時：令和5年9月6日（水）15時～17時
- ▶ 会場：弘法の里湯2階 休憩室
- ▶ 参加人数：9名
- ▶ ワークショップテーマ
にぎわい創造のためにやりたいことのアイデア出し



■ 広報に関するアイデア

自分たちでできること



市の情報を知る
カフェ、集いの場

自分たちでできないこと

おもてなしJUNAI JYU

時間がかかること

■地域交流に関するアイデア

自分たちでできること

駅前広場で子ども主役のイベントの実施（団地住民との交流）

若者に割引券を配布し、まちに関わるきっかけをつくる。

まちの穴場めぐりツアーの実施（お店・スポット・名物店主）

登山客と地域住民の交流

外国人住民と地元住民のつながり

鶴巻温泉駅北口広場の活用

古民家の活用

自分たちでできないこと

おもてなし

時間がかかること

■弘法の里湯活用に関するアイデア

自分たちでできること

温泉の利用者を
増やすための
PR・広報

弘法の里湯を中心と
した観光・食の案内、
イベントを実施

足湯を駅前に設置
目立つ場所に、解
放的に集える場所
に

里湯の地元活用

鶴巻温泉駅 = 「サウナ」
のイメージにしていく。

地域拠点としていく
(公民館・市民セン
ター機能・観光案内)

自分たちでできないこと

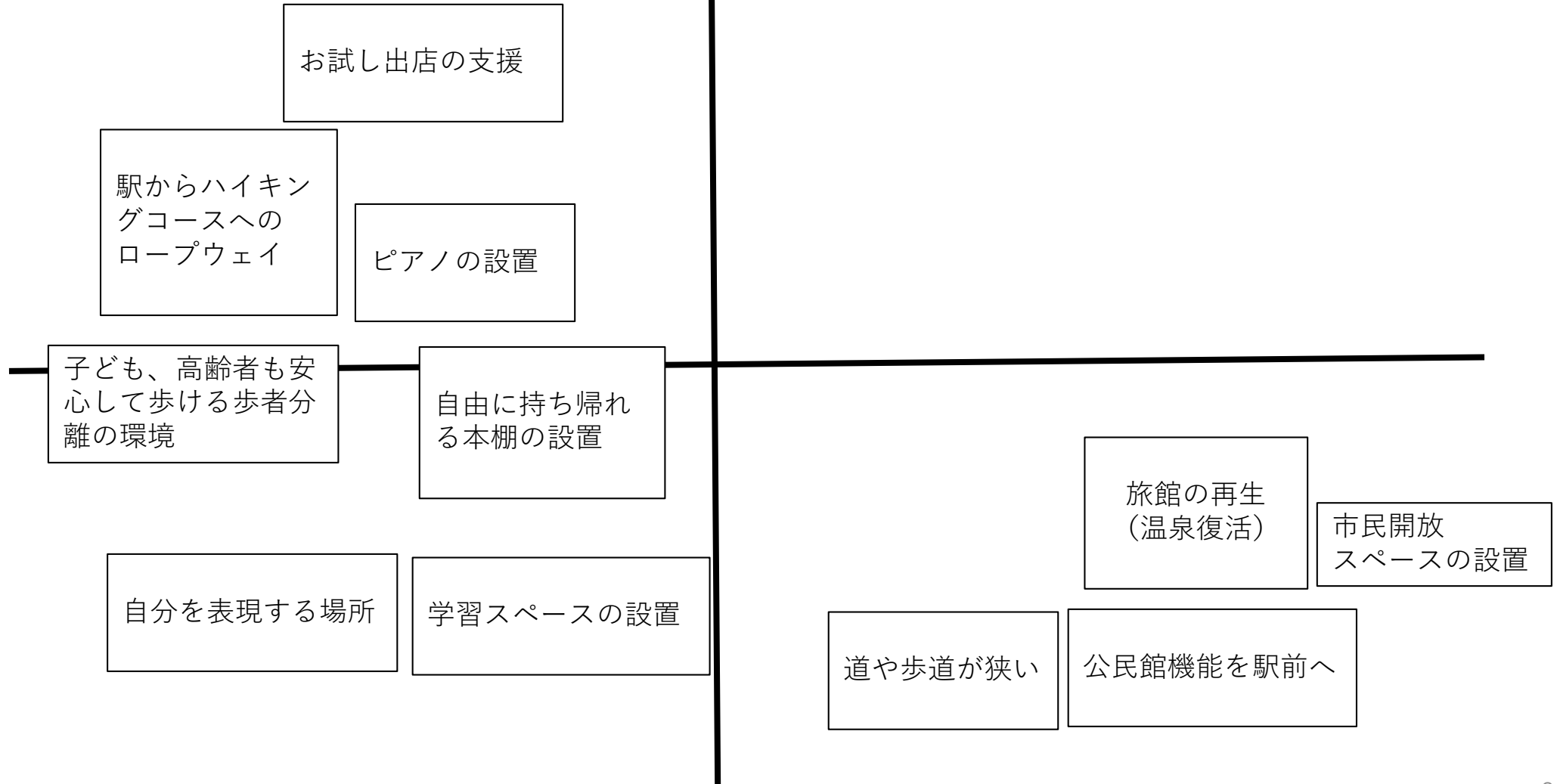
イベント開催

時間がかかる

■施設や環境整備に関するアイデア

自分たちでできること

おもてなし



時間がかかること

自分たちでできないこと

他市事例からの意見

■歩道にテーブルやイスを設置するなど歩道空間を有効活用している取り組み(新潟県長岡市)

概要

歩道上でのテーブル・イスの設置やイベント開催等、商店街のにぎわい醸成に資する活動を促進し、来街者の増加や市民の居場所を創出する。



←しえあぼん
まちなかに自由に持ち帰れる本棚を設置。
市民が気軽に手に取り、シェアする環境をつくることで、多くの市民から「本」に親しんでもらう。



← 野外！プチのも〜れ！
軽食や飲み物をふるまい、講座の開催やNPO法人市民協働ネットワークの活動をPRするもの。

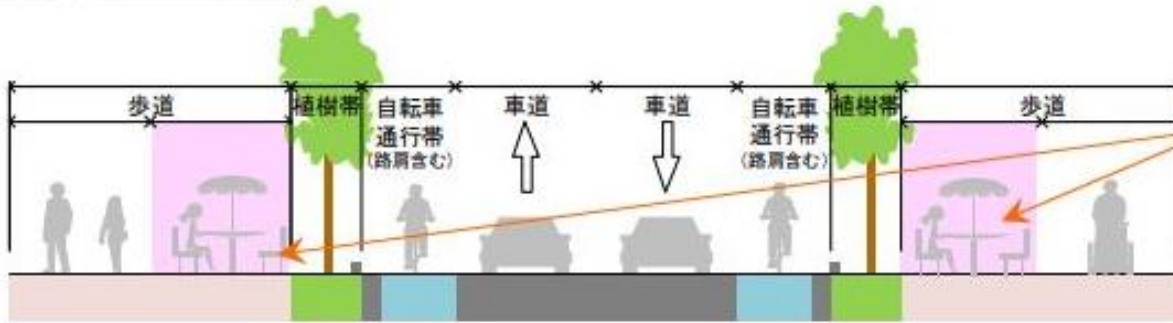
鶴巻地区でも活用できないか。
県道612号線鶴巻駅南口から延命地藏前交差点(延命坂)においてできるとよいと思う。

歩行者利便増進道路制度(ほこみち)等について、庁内で調査をして次回以降お伝えします。

ほこみちとは

賑わいのある道路の構築のための道路の指定制度です。

制度のPoint



Point①

歩道等の中に“歩行者の利便増進を図る空間”を定めることが可能

Point②

特例区域では道路空間の活用を柔軟に許可

Point③

道路空間を活用する者の公募による選定が可能
その場合、最長20年の占用が可能



ワークショップ

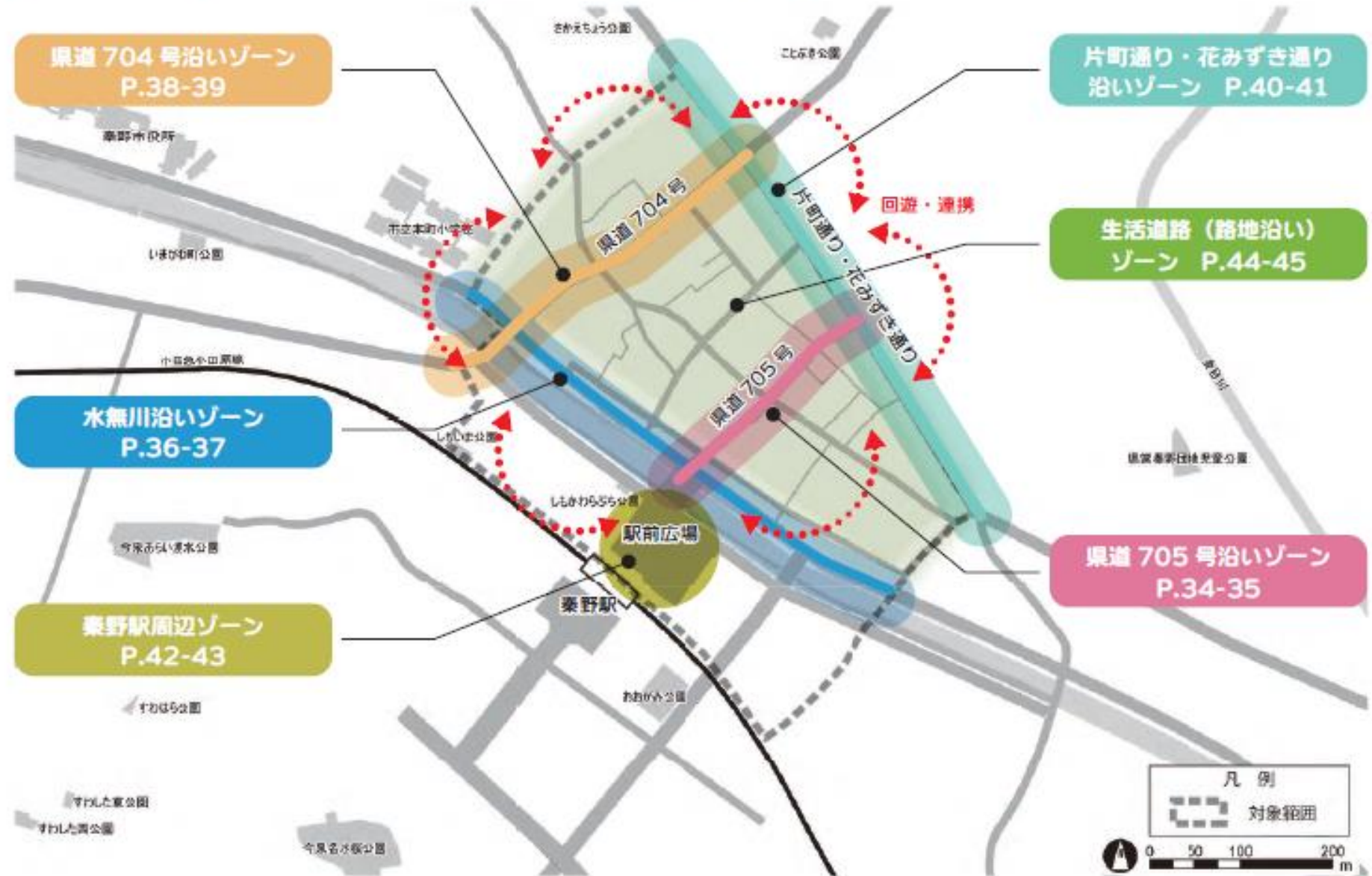
ワークショップ

**「やってみたいことのアイデア」の実現方法を
「どこで」「どんなことをやる」かなど具体的に考えていく。**

- ▶ 社会実験や暫定的に実施できそうな、鶴巻温泉駅周辺で実施したい「やりたいことのアイデア」の企画案をつくる。
- ▶ 来年度に社会実験をするなら実施したい企画案をグループでまとめる。

(2) ゾーン別の取組みの方向性

地区のポテンシャルと課題から分類した、6つのゾーン毎に、目指す将来の方向性を整理します。



2) 『水無川沿いゾーン』の目指す将来の方向性

ポテンシャルと課題

- 湧き水による美しい河川景観が広がります。
- かつては川沿いに活気あるサクラマーケットがありました。
- 景観・環境を活かした川沿いの利活用が望まれます。

目指す将来の方向性

- 水無川沿いには川を眺めながら歩けるスペースや休憩スペースがあり、水無川を身近に感じることができる新たな“はだの”の名所が生まれています。

過去

川沿いには活気ある「サクラマーケット」が存在しました。



現在

人がとどまるスペースが少なく、居心地の良い景観・環境が活かされていません。



将来

川を眺めながら安全に歩けるスペースには、お店等が並び、水無川の景観・環境を楽しむことのできる新たな“はだの”の名所が生まれています。

将来のイメージ



目指す将来に向け、取り組むべきこと

水無川沿いの「活気」を生み出す仕掛けづくり
道路を活用した社会実験等

川沿いに人を滞留させる場所づくり
日常的なイベントの実施や滞留施設の設置等

川沿いに人のための空間が生み出され、人々が思い思いに歩き、憩い、水のある居心地の良い空間を楽しんでいる

水無川の景観 ×楽しむ

公共空間 ×憩う

“はだの”人 ×交流する

現在の水無川沿いの道路空間（市道6号線）



Google earth (画像取得日: 20201104以降)



水無川を望む空間が狭く、人がアクセスしやすい空間となっていない

例えば…



川沿いに滞留空間が創出され、活気生まれる

- 水無川沿いには、安全安心で快適な歩行空間が確保され、歩いたり、休んだりしながら水辺の行まいを楽しむことができます。
- テーブル・ベンチなどが沿道に設けられ、水無川や丹沢の景観を見ながら、ゆっくり過ごしたり、会話・飲食が楽しめます。

将来のイメージ



実現に向けた取組みと取組みのプロセス

まずは やってみる 滞留空間と交通環境のあり方の検証

河川空間や市道6号線を活用し、丹沢の山並みや水無川を眺める視点場や滞留空間を創出し、アクティビティの変化や交通への影響等を確認・検証する。



道路改変による人中心の空間づくり

効果検証を経て、周辺の道路ネットワークに影響のない様に幅員構成や交通規制を変更し、川沿いの景観・環境を楽しむことができる人のための空間を生み出す。

将来実現 したいこと 駅とまちなかをつなぐ景色が豊かになり、水無川沿いを歩く人や過ごす人が増える

水無川沿いを人が行き交い、楽しそうに留まることで、沿道の景色が豊かになり、まちなかに向かう人が増える。

ワークショップ

【ワークショップの班分け】

次の4つのグループより、社会実験や暫定的に実施する際に**主催者側として参加したいグループを選んで**企画案を考えてみましょう。

広報

地域交流

弘法の里湯の
活用

その他の
やりたいこと

ソロワーク(10分)

企画案の作成

社会実験や暫定的に実施でそうな、駅周辺で実施したい「やりたいことのアイデア」の企画案を考える。

企画案	
アイデア	
目的	
やること	ターゲット
実施場所	実施時間帯 平日 or 休日 時 ~ 時
準備すること・もの	心配ごと・課題

グループワーク(20分)

ソロワークで考えた「企画案」をグループ内で発表し、社会実験をするなら実施したい企画案をグループでまとめる。

グループ名

アイデア

目的

やること

ターゲット

実施場所

実施時間帯 平日 or 休日
時 ~ 時

準備すること・もの

心配ごと・課題

全体発表（1班10分程度）

グループワークのまとめを発表し、
みんなの考えを共有する。

グループワークのまとめを発表する人を1名決めてください。

ワークショップのルール

ワークショップは、趣旨に則った意見交換の場です。
全員が発言できるように、話は簡潔にまとめ、
他の人の意見も十分に聞けるようにしてください。

- ◎ 自主性(自発性)を存分に発揮しましょう。
- ◎ 参加者相互の立場を尊重しましょう。
(他人の意見の非難・中傷はご遠慮ください。)
- ◎ 目的や情報など基礎的な共通認識を参加者で共有しながら進めましょう。
- ◎ ワorkshopを楽しみましょう。

2023秋 鶴巻温泉周遊 スタンプラリー



スタンプ用QR

(携帯電話で読み取ってください)

※複数回読み取らないでね！

実施期間

2023.9.16(土)～12.10(日)



No	お店	優待サービス	No	お店	優待サービス
1	トランドリア・ピノーロ	合計金額3,000円以上で合計金額5%OFF	11	Re:turn	ドリンク1杯サービス
2	食パン専門店 Hibi Pan	ラスク1袋プレゼント	12	串や いち	「ジビエ食べ比べ餃子」1皿サービス
3	つるまき花壇センター	合計金額5%OFF	13	白髪食堂	ソフトドリンク1杯サービス
4	からあげ聖林(11ウェブ)	骨ナシからあげ3個サービス	14	ダイニングS	合計金額5%OFF
5	真ゆき旅館	宿泊者1名様ずつ「薬師の水」1本プレゼント	15	BOAR	合計金額5%OFF
6	陣屋	陣屋オリジナル商品(醤油セット等)プレゼント	16	フルール	ソフトドリンク1杯サービス
7	カフェ サマーシティ	オリジナルショップバッグプレゼント	17	Wine & Meat Bar Rana	合計金額5%OFF
8	芳甘菓豆房 鶴巻店	1,000円以上お買い上げの方に商品プレゼント	18	時代旅館(とさわや)	ドリンク1杯サービス(生ビール以外)
9	居酒屋 楽	550円のドリンク1杯サービス	19		
10	スナック Airis	ドリンク1杯サービス	20		

①対象店舗で「スタンプラリー参加中」を伝えて、優待サービスをゲット



②会計時にQRコードを読み取って、カードにスタンプをゲット



③スタンプを5つ集めて、弘法の里湯割引クーポンをゲット

3駅合同の講演会を企画中

令和6年2月頃に、鶴巻温泉駅、東海大学前駅、渋沢駅の3駅合での講演会を企画しています。
「なぜ今、にぎわいについて考える必要があるのか」、「にぎわいとは」等といったテーマで講演いただき、質疑応答の時間を設ける予定です。

講演予定講師：今井 裕久 氏

伊豆の国市伊豆長岡温泉活性化アドバイザー/一般社団法人伊豆長岡温泉エリアマネジメント 理事/(株)プラスニューオフィス プロデューサー/法政大学デザイン工学部・現代福祉部兼任講師など

次回の懇話会の日程について

3駅合同の講演会実施前に行うか、後に行うか皆さんのお考えを伺って決めたいと思います。



**“はだの”の未来に向けて
～ はじめてみよう、できることから～**

**秦野駅北口周辺
にぎわいのあるまちづくり
シンポジウム**

日時 令和5年3月26日 10:00~12:00 (予定)

場所 JAはだの 本町支所 2階会議室 (秦野市本町1-9-3)

参加費無料 事前登録制

実施主体：秦野市はだの魅力づくり推進課 運営支援：株式会社URリネージュ

**秦野駅北口周辺
にぎわいのあるまちづくり
シンポジウム**

社会・経済情勢の変化により、人々の価値観やライフスタイルをはじめ、まちづくりに求められるもの、まちづくりの進め方も変化しています。市の中心的な商業地として発展してきた秦野駅北口周辺においても、これまでの形を踏まえながら、時代のニーズに合った新しい視点でまちづくりを進めていくこと求められています。

本シンポジウムでは、大切な地域資源（温泉）を守りながら、地域で暮らし続けられるコミュニティを創出し、“温泉のある暮らし”をテーマに温泉旅館、民間企業、観光協会、市役所等が連携してまちづくりを進めている伊豆の国市の事例紹介とともに、秦野駅北口地区における今後の取組みを紹介しながら、“はだの”の未来に向けて、どんなことから始めようのか、また、自らできること、持続可能なこと、地域一体で進めること等、公民連携によるまちづくりに向けて、ゲストや参加者の皆さんと一緒に考えます。

プログラム

- 開会あいさつ 10:00開始
- 講演
 - 伊豆長岡温泉のエリアプラットフォーム
今井 裕久 伊豆長岡温泉活性化アドバイザー
一般社団法人伊豆長岡温泉エリアマネジメント理事
 - パネルディスカッション
秦野の魅力や資源を生かすまちづくりのポイント
パネリスト：今井 裕久・岩崎 克也・山家 京子・上松 太一
コーディネーター：株式会社URリネージュ 水野 達
- 閉会あいさつ 12:00終了予定

会場案内・問い合わせ先

会場 JAはだの 本町支所 2階会議室 (秦野市本町1-9-3)

参加費無料
事前登録制 (定員70名)

申込方法は下記に記載するはだの魅力づくり推進課宛てに電話またはメールにてお申込みください。
申込締切は3月23日(木)です。

お申込み・問い合わせ先
秦野市 はだの魅力づくり推進課
電話番号：0463-82-9036
メールアドレス：miriyoku@city.hadano.kanagawa.jp

ゲストスピーカー

今井 裕久
伊豆の国市伊豆長岡温泉活性化アドバイザー/一般社団法人伊豆長岡温泉エリアマネジメント 理事/(株)プラスニューオフィス プロデューサー/法政大学デザイン工学部・現代福祉部兼任講師など

岩崎 克也
東海大学 秦野市学部長

山家 京子
神田川学 建築学部まちづくりコース 教授

上松 太一
秦野市 はだの魅力づくり推進課 担当職員

秦野駅北口周辺にぎわいのあるまちづくりシンポジウムでもゲストスピーカーとしてお越しいただいた方です。